

広告

企画・制作 LEXUS NEW TAKUMI PROJECT 実行委員会

心を揺さぶる、地域性作品を表現。

川嶋 理良 群馬県／陶芸家

「LEXUS NEW TAKUMI PROJECT」(主催：レクサス)は、日本各地で地域の独自性や技術を生かし、新しいモノづくりに挑む「匠」を応援する。

「匠」のモノづくりに挑戦する「匠」を応援する。

プロジェクトのスーパーバイザーに、放送作家として多くのヒットを手がけ、くまモンの生みの親でもある小山薫堂氏を迎え、隈研吾氏(建築家/東京大学教授)、ゲエナエル・ニコラ氏(デザイナー)、清川あさみ氏(アーティスト)、生駒芳子氏(ファッション・ジャーナリスト/アート・プロデューサー)、下川一哉氏(意匠と匠研究所)らをサポートメンバーに発足。第一回となる今回は、全国47都道府県から地域推薦、一般公募合わせて52名の若き匠が選出された。

昨年夏、レクサスギャラリー高輪で行われたキックオフ・セッションを皮切りに、サポートメンバーが実際に工房を訪ねるエリア・コンサルティングを重ね、匠は自身のアイデアを磨き、プロダクトづくりに取り組んだ。「本当に欲しくなるプロダクトか?」「地域のオリジナリティーはあるか?」「コンセプトやターゲットは明確か?」など、サポートメンバーから真剣なアドバイスをされ、匠は約一年の試行錯誤を経てプロダクトを完成させた。



1月18日に都内で行われたエリア・コンサルティングにて

イベントでは全国の百貨店、セレクトショップのバイヤー、メディア、デザイン関係者などに向けてプレゼンテーションを実施。世界へ羽ばたく足がかり、ビジネス拡大のきっかけとなるチャンスを手にした。



1月18日、プレゼンテーションにて

「伝統」を守りながら「新しい」感覚やテクノロジーを吹き込む。「地域」の特性を深めながら、その魅力を「世界」へ広く発信する。日本のモノづくりを支え発展させ、そこから新しい価値を生み出そうとしてレクサスのブランド思想の1つである「二律双生」を、地方創生×モノづくりの視点で実現するプロジェクト。群馬県選出の匠、陶芸家川嶋理良さんの思いと、完成したプロダクトを紹介する。



スーパーバイザー 小山 薫堂氏

1964年6月23日 熊本県天草市生まれ。日本大学芸術学部放送学科卒。「料理の鉄人」や「ニューデザインパラダイス」、映画「おくりびと」など数多くのヒット作品の企画・構成に携わる。「くまモン」の生みの親でもある。

地域の人や自然から生まれる発想

「群馬は魅力的だが、そのイメージを伝えにくい」と常々感じていたという川嶋さん。LEXUS NEW TAKUMI PROJECTのプロダクト制作において「変わらなければ」という自身の思いと群馬を重ね合わせた。それまでは陶芸



エアブラシで絵付けをする

家として「自然」を作品のモチーフとすることが多かったが、今回は日本や地域をどう

今までにない「大胆さ」を表現

川嶋さんは当初、使う人のことを考え、「使いやすさ」や「実用性」をテーマとしていた。

しかし、サポートメンバーの下川氏から「私はプロデュースしているお店の料理人に対して、盛り付けは食べる人のことではなく、まずは器を引き立てることを優先して欲しいと言う」と言われ、方向を見失い戸惑い足元を見つめ直したという。下川氏からは、さらに「思い切る」というアドバイスももらった。

この言葉を自分の中で咀嚼し悩み抜き、「人の心をわしづかみにするような作品を創るためにどうすればよいか」とひたすら考え続けたそうだ。



川嶋さんの作業風景

こうした模索と作品づくりを通して、知らず知らずのうちに固定観念から小さくまとまりがちになっていた自分に気づくことができ、それらを壊すような荒々しさを表現で



工房前にて、地元への思いを語る川嶋さん

採り入れるべきかを出発点とした。プロダクトの定義の一つである「地域の特性」がありながら、川嶋さんの絵付けの最大の特徴であるエアブラシで表現できる素材を模索した。筆と異なり、色の境目やグラデーションをはっきりと

高崎のシンボル、だるまの眉にあたる鶴、そしてヒゲの亀。鶴と亀という縁起物は結婚や長寿のお祝いの贈り物としてはもちろんのこと、ちよつとした喜びや願いを日常に採り入れることのできるものでもある。

鶴と亀をモチーフに、器の

満足している。二羽の鶴という物語がある器なので、盛り付けで頑張らなくても、祝い事や日常のちよつとした感謝の食卓、お茶の時間などを演出できるものとして、日々の暮らしでもいろいろな人に

使ってほしいと考えている。

今回のプロジェクトを通じて、日本文化や地域性について深く思索したと語る川嶋さん。今後は、日本らしい節目の、さまざまな行事を大切に、製作に向き合いたいという。



完成プロダクト「DarumaZen」



川嶋 理良 群馬県／陶芸家

1973年群馬県高崎市生まれ。1993年石川県立九谷焼技術研修所卒業、1996年オーストラリア国立大学陶芸科ディプロマ修了。1998年沖縄県名護市勝山に陶芸家・田部井健二氏と共に「嘉津字窯」を築窯。2000年群馬郡榛名町(現高崎市)に「はるな陶芸工房」を創設。ハンドメイド陶器製球体スピーカー ceramusicが、2013年度グッドデザインぐんまに選定。

